

あべともこニュース

いのちの為に政治を変える



◆95,013票のご付託を：第49回衆議院選挙で8回目の議席を小選挙区で当選させて頂いたことに、何よりの感謝と重い責任を感じます。

コロナ感染症により、医療にかかれずに亡くなっていった方、上司に公文書の改ざんを強いられて、自ら死を選んだ近畿理財局の赤木俊夫さん、そしてコロナ禍による格差拡大の中では女性や子供の自殺が増えたこと。いずれも今の政治でいかに命が軽んじられているかの現れと思います。

コロナ感染症は通常の医療にも影響を与え、癌検診など大切なものも後回しになったり、産科の病棟もコロナ病棟に変わったりしましたが、本来は災害医療としてしっかりと感染症に備える体制が必要です。その為にはこれまでの医療費抑制策を見直さなくてはならないことを強く訴えていきます。

衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県 12 区 (藤沢市・寒川町)
 当選 8 回、東京大学医学部卒業、
 小児科医、あべともここどもクリニック (湘南台) 理事長
 現在、内閣委員会・原子力問題調査特別委員会委員



https://twitter.com/abe_tomoko



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

◆教育の大切さと幸せ予算
 このコロナ禍の中で、突然に学校が休校になったり、第五波では子供達にも感染が広がった為に、登校をどうするかも大きな問題になりました。またアルバイトなどをしながら学ぶ多くの学生は、収入が激減し学業の継続が困難になったり、対面授業がない為に、孤立感を強め途中退学の学生も出ました。

教育は子どもの未来築くを最も重要なものです。子どもの貧困や自殺の増加に対しても、しっかりと子供と家庭、そして学校現場を支える予算を組まなくてはなりません。

コロナ感染症により傷んだ経済への支援は勿論のこと、鬱や精神不調が増え、家庭内暴力も増えたことへの対策も重要です。

ニュージージーランドのアーダーン首相の言う「幸せ予算」が我が国でも必要だと思います。

◆温暖化対策待った無し
 衆議院議員選挙の投票票日に、イギリスのグラスゴーではCOP26が開かれ、世界が協力して温暖化の進行を少しでも食い止める為に何ができるかが話されました。

台風や豪雨や土砂崩れなどの災害の激甚化だけでなく、コロナ感染症もまた温暖化と乱開発の結果と考えなくてはなりません。この選挙戦ではなかなか取り上げることができませんでしたが、スウェーデンのグレタさんはじめ若者世代が大人への抗議として取り上げた温暖化対策の遅れにも、しっかりと答えを出していかなくてはなりません。まず2030年に私たちはどこまで再生可能エネルギーを普及出来るか、石炭にも原発にも頼らないエネルギー政策を今後の国会でも提案したいと思えます。

出典
 北海道新聞 (11/7)

立憲民主党の衆参両院の女性議員の当選回数
 ※単位は人



8期目も
 歩み続けます!!



衆議院議員 あべともこ事務所 〒251-0025 藤沢市鵠沼石上 1-13-13-1 F

TEL 0466-52-2680 FAX 0466-52-2681 E-mail: inochi@shonanfujisawa.com

立憲民主党神奈川県総支部連合会 〒231-0012 横浜市中区相生町 4-69-2 F TEL 045-226-2377 FAX 045-226-2378